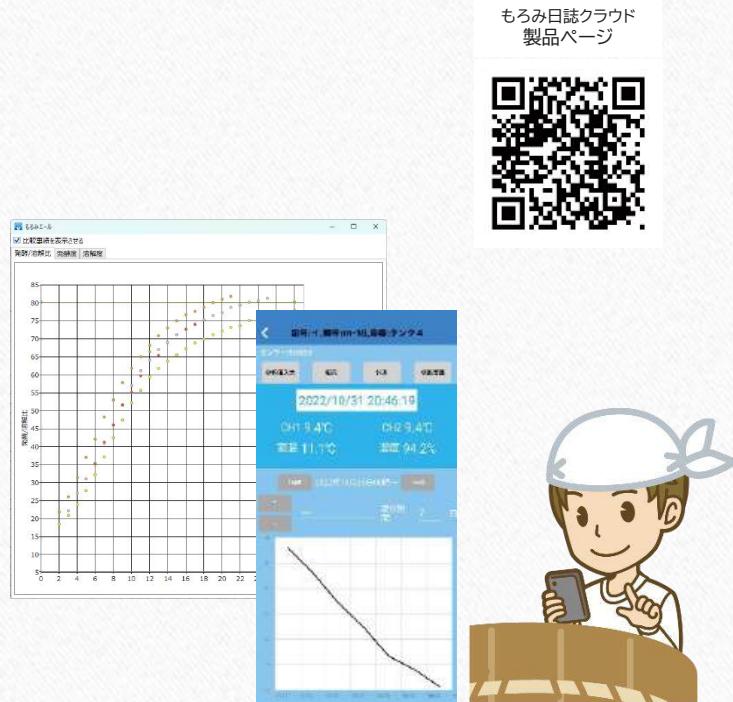


もろみ日誌クラウド機能資料

⑥分析機能でできること編

2026年1月現在

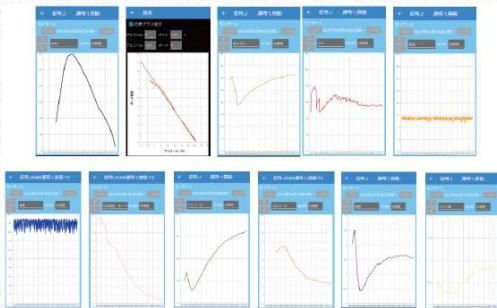
- P2 概要
- P3 分析値の入力、グラフでの確認
- P4 経過グラフで見える化
- P5 グラフでの比較
- P6 もろみエールの管理指標に対応



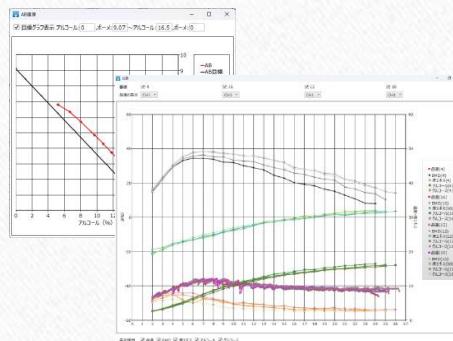
特長とメリット概要

特徴

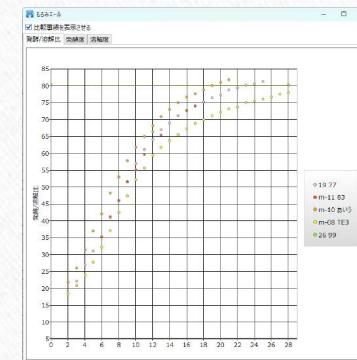
- 分析値を入力することで、管理指標の算出やグラフ生成を自動化。過去のデータとの比較も行えます。



分析値ごとのグラフ表示
(Windows、スマホ)



比較機能で
酒造りに活用



もろみエールの
管理指標も対応

メリット

- もろみの状態を数値で把握
分析値や指標に基づいて発酵の進み具合をチェック
- 可視化で酒質を安定化
良いできのグラフと比較し、酒造りに活用

分析値の入力、グラフでの確認

分析計の測定結果を、スマホでダイレクトに入力。分析室とパソコンが離れていても、入力作業を現場で完結させることができます。分析値を入力すると、BMD曲線や原工キスなどの指標を自動でグラフ化します。

スマホから分析値を入力

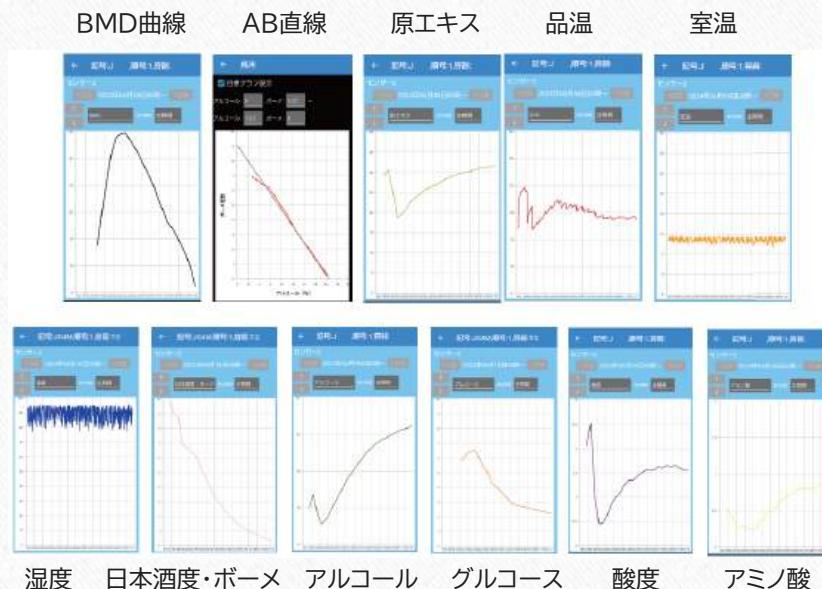
スマホで直接分析値を入力
手書き不要



分析計からのデータ取り込みにも対応

グラフで見える化

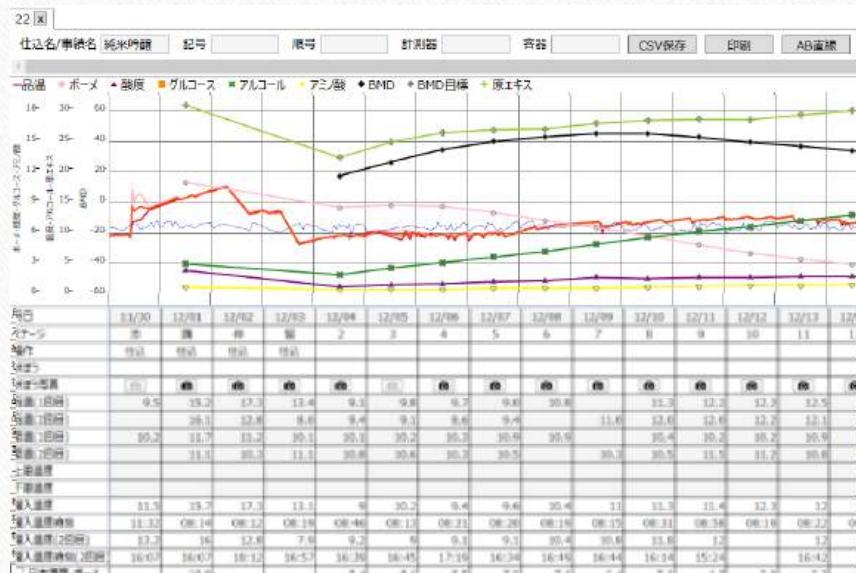
- ボーメからBMDを自動計算
- BMD曲線やAB直線、原工キスで分析
- 品温や分析値など11項目から選択し表示



経過グラフで見える化

パソコンでは、品温、分析値、指標(BMD、原エキス)をひとつの「経過グラフ」に重ね合わせて表示可能です。品温の変化が分析値や各曲線にどう影響しているか、グラフの形状を一括で俯瞰できるため、もろみの発酵バランスや進行状況を多角的に判断できます。

経過グラフで確認 (Windows)



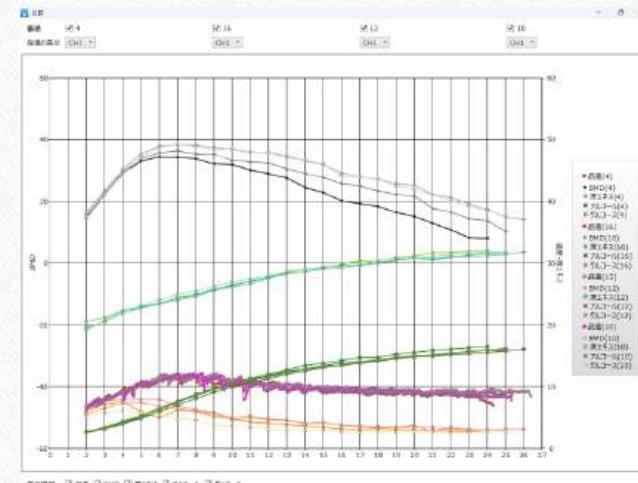
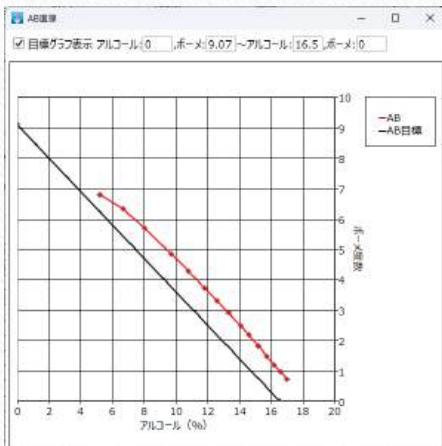
- 日毎に入力された値をグラフ化
- 分析値や品温を一括で確認でき酒造りをフォロー
- BMDと原エキスは必要な値が入力されると自動計算

グラフでの比較

過去のよい出来の推移を目標値として、現在のグラフに重ね合わせて発酵の進み具合を比較。酒づくりの判断に活かします。

比較機能 (Windows)

- Windowsアプリなら比較機能が利用可能
- 過去事績との比較(BMD、品温、原エキス、アルコール、グルコース)。
過去3事績まで選択可能。
- 目標線との比較(AB)



New

もろみエールの管理指標に対応

経験に頼っていた発酵の進捗を、醸造理論に基づいた管理指標の視点からのチェック。原料米の状態が毎年変わる中でも、データの裏付けを持って判断できるようになります。

3つの管理指標

- ・ 管理3指標「溶解度」「発酵度」「発酵/溶解比」を自動計算しグラフ化
- ・ 最大8件までの事績と比較が可能
(Windows)

